

千歳市教育委員会だより

からふる



令和5年2月 冬号
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

アンカレジ市 ミアーズ中学校訪問記

千歳市では、市内の中学校と姉妹都市であるアメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市にあるミアーズ中学校との交流として、お互いの中学校への訪問を平成21年度から行っており、今年度、4年ぶりに、1月7日(土)～14日(土)の期間で、市内中学生9名がミアーズ中学校を訪問し、交流をしてきました。

体験授業等のほか、ホストファミリー宅に泊まらせていただくなど、得難い経験をたくさんしてきました。



新千歳空港を元気に出発



ホストファミリーが空港で歓迎



全校集会での歓迎セレモニー



ミアーズ中生とお供え餅を作る



ミアーズ中生とカルタに興じる



地元サンドレイク小からプレゼント



アンカレジ市長への表敬訪問



お別れ集会でホストファミリーと



千歳に無事到着し家族と対面

今年5月にはミアーズ中学校から20余名の生徒たちが千歳に来ます。ホストファミリーを引き受けていただける方々、授業等の体験を引き受けていただく中学校にご協力いただき、あたたかくお迎えしたいと思います。

千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。
URL : <https://www.city.chitose.lg.jp/>

千歳市 からふる

検索



第7回 学校図書館展を開催しました

令和5年2月6日（月）から2月17日（金）の期間、千歳市立図書館（正面玄関展示スペース）において「第7回学校図書館展」を開催しました。

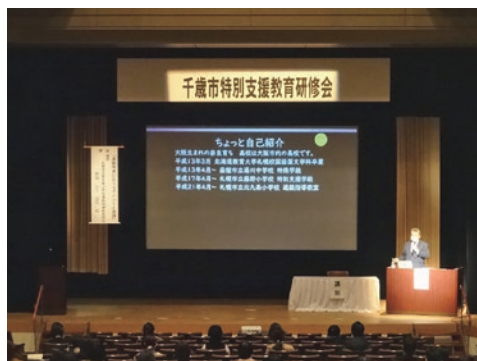
学校図書館展は、市民の方に千歳市小中学校の読書活動、学校図書館の様子やボランティア活動、学校司書の取組等について広く知っていただくことを目的に、千歳市小中学校司書配置業務を受託している株式会社図書館流通センターが、毎年、市内小中学校4～5校の協力を頂き開催しています。

今年度の「第7回学校図書館展」では、北栄小学校、末広小学校、千歳第二小学校、みどり台小学校の4校の取組を紹介しました。



千歳市特別支援教育研修会を開催しました

1月11日（水）に、北ガス文化ホール中ホールを会場に千歳市特別支援教育研修会を開催しました。この研修会は、「障がいのある幼児児童生徒の理解を深め、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の充実について学び、特別支援教育に係る専門性の向上を図る」ことを目的に開催しているものです。年々、通級による指導を希望する児童数が増加しており、また、令和4年度からは、北陽小学校に市内3校目の通級指導教室が開設されるなど、通級指導教室の重要性は高まっています。



そこで、通級指導教室で長年優れた実践を重ねている、札幌市立南月寒小学校の山下公司教諭を講師にお招きして、「通級指導におけるポイントと実践」と題した研修会を開催しました。

通級指導教室での指導が、どのような内容やねらいで行われているかについて、たくさんの実践例を交えて解説いただきました。参加者の満足度は非常に高く、また、「通級についての理解が深まり、学びが多かった。アセスメントがとても大切だと感じた」など、通級指導に対する理解が深まる研修会となりました。

学校の特色ある取組を紹介します！

東小学校 米作り体験～保護者とのふれあいを通して～

東小学校では、新型コロナウイルス感染症予防で中止にしてきた「米作り」を3年ぶりに実施。そのため3年生以下は、田植えや稲刈りが未経験。経験者である上級生とペアになり、裸足で田んぼに入って田植えをしたり、鎌で稲を刈ったり、脱穀機で脱穀したりしました。上級生は経験を生かし、優しく・丁寧にやり方を下級生に教えていました。例年収穫したもち米で「もちつき集会」をしていましたが、今年度は「お赤飯」に変更。小豆は高学年が栽培したものも使い、全校児童で美味しくいただきました。保護者の皆様には作業のお手伝いだけでなく、物品の運搬・「はさがけ」の設置・お赤飯作りなどに協力していただきました。



北陽小学校 学校分離に伴う様々な変化に合わせて

令和4年度、みどり台小学校の分離開校に伴い、これまで1,500名近くいた全校児童が900名弱になり、学級数も32学級となりました。空き教室が増えたことにより、学習活動の幅を広げることが可能になり、コロナ禍の中ではあるものの、のびのびと過ごす子どもたちの姿が多くみられています。



また、分離に伴って「ことばとまなびの教室」が新たに開設され、市内北側地区の小学校から多数のお子さんが通われています。関係諸機関との連携を密に、専門の職員のもと、お子さん一人ひとりに応じた特別の指導を、きめ細かに、かつ弾力的に提供する体制が整っています。



今後も分離後の様々な変化に柔軟に対応し、より充実した教育活動を進めていきます。



勇舞中学校 ～外部人材の活用と学びの充実を～

勇舞中学校は令和4年度で開校10周年を迎えました。12月には初代の校長先生をお招きし、周年記念講話とプロのチェロ、ヴァイオリン、ピアノ奏者による特別演奏会を開催しました。開校当時の様子や良き伝統について学ぶとともに、生演奏に触れることができました。また、例年行っている人権教室や薬物乱用防止教室、3年生マナー講座でも外部人材を活用した授業を行い、より深い見識を身に付けることを目指すとともに、今年度は、千歳アイヌ協会会長の全校道徳や2年生を対象にしたSEGA SAMMY LUXの方々によるダンス教室、JCIによるウクライナ授業などを行っていただきました。

これからも、普段の授業に加えて、専門性を持つ様々な外部人材の方を積極的に活用して、より深い学習になるように努めていきます。



多くの企業や団体から寄贈をいただきました！

令和4年11月から12月にかけて、株式会社戸田運輸様から、中学校2校へ吹奏楽部の楽器を、セガサミーカップゴルフトーナメント大会事務局様からは、小中学校7校へポータブルスピーカーなどの教育備品を、公益財団法人札幌南法人会千歳支部様及び千歳青色申告会様から、市内の全中学1年生を対象に「税ノート」を寄贈いただきました。また、道央農業協同組合様からは、市内小中学校給食用として学校給食センターへ「う米蔵830kg」を寄贈いただき、11月21日の学校給食で子どもたちに提供させていただきました！



さいきんのわだい

千歳市・指宿市青少年相互交流事業 ちとせ★いぶすき～ふるさとガイドオンラインツアー～

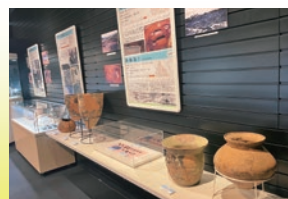
姉妹都市である鹿児島県指宿市の児童11名と千歳市の児童11名でオンライン交流を行いました。8月9日(火)の第1回はオンラインで両市をつなぎ、指宿市の児童が自分たちの住むまちの紹介をし、10月8日(土)の第2回は千歳市の児童だけで事前学習、1月21日(土)の第3回は千歳市の児童が「ふるさとガイド役」になり、千歳のまちについて立派に発表しました。また、千歳市からは雪だるまを送り、指宿市からは菜の花が届き、両市の特産品を送り合い、お互いの歴史や文化などの違いを学び、姉妹都市の絆を深めました。



埋蔵文化財センター企画展「あなたのそばの遺跡たち」を開催しています。

埋蔵文化財センターでは令和5年1月11日(水)～3月24日(金)の期間で、企画展示会『あなたのそばの遺跡たち～千歳市内の遺跡紹介～寿・日の出・豊里・旭ヶ丘地区編』を開催しています。千歳市では広い範囲で遺跡が見つかっており、企画展では、千歳市内にある遺跡について、出土遺物や写真等で紹介しています。

《会場：埋蔵文化財センター企画展示室／開館時間：平日・第2日曜日9:00～17:00》



千歳の小中学校に「揚げパン」が初上陸!!

全国的に学校給食の人気メニューの上位に常にランキングされている「揚げパン」が、令和5年2月、千歳市の学校給食に初登場しました。

揚げパンをおいしく調理することは意外と難しく、パン探し、揚げ方、食缶への入れ方まで2年以上をかけて試行を行い、ようやく千歳市の給食で提供することができました。

噂の「揚げパン」は、子どもたちに大好評で楽しい給食時間となりました!



わたしのおすすめ図書～学校司書さんに聞きました～

(向陽台中学校/勇舞中学校 学校司書 対馬 涼子さんおすすめ)

「6カ国転校生ナージャの発見」

キリーロバ・ナージャ 著/集英社

ソ連(現ロシア)に生まれ、両親の転勤でロシア、日本、イギリス、フランス、アメリカ、カナダの小・中学校に転校した著者の学校生活を紹介。国が変われば筆記用具も教室の机の並びも、昼食も(家に帰って食べてくる?)! 整列のしかたも(背の高い人が一番前?!) テストのやり方(計算機使っている?!)も、何が出来たら「優秀」なのかも全然違う! そこにはその国ならではの事情や様々な考え方がある、どれか一つがふつうとか正解ということではない“違い”があるって、なんだか面白くて楽しい!と思わせてくれる1冊です。



(北栄小学校 学校司書 山本 史子さんおすすめ)

「こそあどの森の物語① ふしぎな木の実の料理法」

岡田 淳 著/理論社

「子供がなかなか字の多い本を読まない…」そんなご相談には、まずは家族で1冊の本を楽しむ=家読(うちどく)をお勧めしています。今回は家読にぴったりの1冊を紹介します。謎に包まれた森に住む、内気な少年スキッパー。ある日彼の元に、固い固い「ポアポアの実」と手紙が届きます。しかし、手紙が雨に濡れてしまい肝心な所が読めず、スキッパーはその実の調理法を森の住民に聞いて回りますが…。この本の魅力は、森の住民がみんなとっても個性的で、彼らの住む家がなんともユニークなところ。是非本を開いて、こそあどの森の世界を楽しんで下さい!



祝梅小学校 ～私たちの単P活動～

祝梅小学校PTAは、安東会長をはじめ、17名の役員が中心Pとなって活動しています。

本校では、児童の学びを少しでも支えようという本校PTAの趣旨に共感していただき、1家庭につき1つの係を担当することになっています。今年度も、新型コロナウイルスの感染状況を考えて、「中止」や「廃止」にしたPTA活動もあります。このような中ですが、児童にたくさんの本に親しんでもらうため、定期的な図書整備や図書館の飾り付け、月1回の読み聞かせなど、感染症対策を徹底しながらできる活動を行っています。今後も子供たちのために、PTAの皆様のご支援とご協力を得ながら、PTA活動を少しでも前進させ美りあるものにしていきたいと思っております。



編集・発行 千歳市教育委員会(千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：0123-24-0819(直通)

■FAX：0123-27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：https://www.city.chitose.lg.jp/